

市民参加プロセス計画書：(仮称) 徳川家康公顕彰条例の制定

Q・そもそも、なぜこの計画又は事業が必要なのか？計画策定又は事業推進により解決したい課題は何か？

岡崎市は、大河ドラマ『どうする家康』を契機に、家康公生誕の地として新たな進化を遂げるために、様々な盛り上げやおもてなしの取組を進めてきました。取組によって創出された効果や、ドラマを通じた、家康公や岡崎への関心・愛着のさらなる高まりを、しっかりと将来に繋ぎ、まちづくりを進めていく必要があります。  
今までも「家康公生誕の地 岡崎」として様々な取組がなされてきましたが、三河武士たちを含めた家康公の功績を再認識したこの機会に、家康公の功績を尊び、未来へ繋いでいくことを市民全体の共通認識として条例により明文化する必要があると考えています。

	実施時期（年月）	具体的な市民参加手法・実施場所・実施回数など	対象者（対象とした理由）	・提供する情報 ・聴取したい情報	目的（何についてどこまで合意形成したいか）
検討段階	大河ドラマ後においても徳川家康公や家臣団の功績に倣い、岡崎市の魅力発信や地域活性化につながる事業を実施していくための、アフター大河戦略推進ワーキンググループにおいて検討したため、構想段階から市民参加を実践することとします。				
構想段階	令和6年1月～4月	徳川家康公と岡崎城に関する意識調査（あいち電子申請・届出システムによる）	全市民（広く意見を求めたいため）	「どうする家康」放送終了後の、徳川家康公と岡崎城に関する意識調査	条例制定へ向けた参考とする。
計画段階	令和6年3月～4月	「(仮称)徳川家康公顕彰条例」の制定に対する意見募集（あいち電子申請・届出システムによる）	全市民（広く意見を求めたいため）	条例制定の背景・目的・要素を示し、「(仮称)徳川家康公顕彰条例」の制定に対する意見を募集	条例制定へ向けた参考とする。
	令和6年4月	(仮称) 徳川家康公顕彰条例選定検討懇談会	(仮称) 徳川家康公顕彰条例制定検討懇談会委員（学識、自治、教育、経済分野等からの御意見をお聴きしたいため）	条例（たたき台）	条例（たたき台）について学識経験者等から、それぞれの立場からの意見をいただく。
	令和6年4月～5月	団体の総会、会議等でアンケート聴取（15回）	団体の総会、会議等の参加者	条例制定の背景・目的・要素を示し、「(仮称)徳川家康公顕彰条例」の制定に対する意見を募集	条例制定へ向けた参考とする。
	令和6年5月	市政アドバイザー制度利用	歴史に詳しい学識経験者	パブリックコメント資料（条例案・逐条解説）	歴史に長けた方からの意見をいただく。
	令和6年5月～6月	若い世代の徳川家康公や岡崎公園に対する意識調査（あいち電子申請・届出システムによる）	市内の小・中学校に通う小学5年生～中学3年生	・徳川家康公について ・岡崎公園について	条例制定へ向けた参考とする。
	令和6年6月～7月	パブリックコメント	全市民（広く意見を求めたいため）	条例（案）	条例（案）の内容に対する御意見をいただく。
	実施・運用段階				